

失敗を積み重ねて強くなろう



工学研究科長 藤長愛一郎

2022 年度から工学研究科長をしております藤長と申します。皆さんと直接お話する機会はないかも知れませんが、指導教員に話して頂ければ、先生方と研究環境を少しでも整えることができるように努めます。

皆さんが大学院に進学された理由は色々あると思いますが、卒業研究で行った実験や解析に興味をお持ちであると思います。今取り組んでおられる研究や開発していることが、社会の役に立てば最高ですが、そうでなかったとしても、皆さんが大学院生として成長することで、大学院修了後、社会に貢献できます。

最近では、生成AIや自動運転など、私が学生時代に学んだことのない技術が急速に発展しています。また、地球温暖化やエネルギー供給、廃棄物の問題を国際的に解決して、持続可能な開発 (SDGs) をしていかなければなりません。一方で、震災、戦争、感染症など、昔から繰り返されてきた禍は、今でもなくなっていない。

それでは、これらの問題にどう取り組めばいいのか、この様な大きな問題に対して私たちに何ができるのでしょうか。それを今後、一緒に考えてもらいたいと思います。色々なことを自由に考えたり、学んだりできるのが、大学院だと思います。

しかし、時間は有限であり、貴重なものです。工学研究科では、皆さんが毎年、学会で研究発表をすることを目標にしていますので、それが励みになっている人もいれば、プレッシャーになっている人もいます。

研究の実験や解析がうまくいかず、失敗が続くことが多いかもしれません。しかし、そもそも失敗というのは、予想した通りに出来なかっただけのことであり、多くの失敗を通して学んでいくものです。それで、「失敗は成功の基」ということわざもありますし、偉大な先生方も「無駄な失敗はない」と言われています。特に学生が失敗しても何ら気にすることはありませんし、そのために指導教員や我々がいます。

最後に、大学院生は学部生に比べて少ないのですが、学部生からすれば一番身近なお手本とすべき先輩です。大阪産業大学の先輩方を代表していると思って、大学院生活をおくって頂ければありがたいです。それでは、今年1年間よろしく願いいたします。